

がん化学療法レジメン登録票

レジメン名	Nivolumab + Ipilimumab(腎細胞がん) ※Nivolumab:5サイクル目以降 480mg q4w
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	根治切除不能又は転移性の腎細胞がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ur-049
登録日・更新日	2020年10月27日
削除日	
出典	オブジーボ添付文書 N Engl J Med. 2018 ;378:1277-1290
入力者	阿部 誠也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

1-4サイクル目						
	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ニボルマブ(遺伝子組換え) (オブジーボ点滴静注)	240mg, 20mg	240mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分以上	day1
	生理食塩液	100mL				
No.2	イピリムマブ(遺伝子組換え) (ヤーボイ点滴静注)	50mg	1mg/kg	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分	day1
	生理食塩液	50mL				

5サイクル目						
	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ニボルマブ(遺伝子組換え) (オブジーボ点滴静注)	240mg, 20mg	480mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分以上	day1
	生理食塩液	100mL				

1コースの期間(1-4サイクル目)	21日
1コースの期間(5サイクル目以降)	28日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1日) <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【初回治療開始基準】 WBC>2000/mm ³ かつ ANC>1500/mm ³ Hb>9.0g/dL Plt>10万/mm ³ T-Bil<2.0mg/dL AST<100IU/L ALT<100IU/L 血清Cr≦1.5mg/dL またはクレアチニンクリアランス≧45mL/min
前投薬	なし
その他の注意事項	【オブジーボ点滴静注】 ・希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、本剤の点滴溶液中の安定性が確認されていない。 【ヤーボイ点滴静注】 ・そのまま、もしくは生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液を用いて1~4mg/mLの濃度に希釈し、投与すること。 【オブジーボ点滴静注、ヤーボイ点滴静注 共通】 ・併用療法は最大4コース。 ・インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を使用する。 ・臓器移植歴(造血幹細胞移植歴を含む)のある患者への投与は不可とする。 ・IMDC リスク分類が Favorable リスクの患者は他剤での治療を検討する。 【IMDCリスク分類】 Karnofsky Performance Status <80% Hb<正常下限 診断から治療開始までの期間<1年 補正Ca値>10mg/dL 血小板数>正常上限 好中球数>正常上限 0因子 favorable 1-2因子 intermediate 3因子以上 poor 【免疫チェックポイント阻害薬を使用する際の注意事項】を参照

記入者	阿部 誠也
確認者	大山 優